

# ベルマーク新聞 11月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035  
大阪事務所 大阪府北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

## 豊橋まつりでベルマーク PR



10月20日(土)と21日(日)、愛知県豊橋市で行われた「第64回えじゃないか豊橋まつり」で、市教育委員会が「目指せ『ベルマーク』1,000万ポイント!」を掲げたベルマークのブースを出しました。豊橋市は2016年から市をあげてベルマーク運動に力を入れ、3年目となる今回のブースには過去最高の約500人の子どもたちが訪れました。

「こども未来館ここにこ」に21日に設営されたブースでは財団制作のDVD「未来を育むベルマーク」が大きなスクリーンで流れ、ベルマーク商品の展示や市内で運動を応援する企業の紹介、クイズコーナー、そしてもちろん収集箱もあり、まさにベルマーク一色でした。スタッフとして、ベルマーク大使の倉光陽子さんを始めとした市教育委員会の皆さん、同じく大使の松本哲さん率いるジブラルタ生命保険(ベルマーク番号15)の岡崎支社豊橋第二営業所の皆さん、社長が大使として活躍するあいおいニッセイ同和損害保険(同92)の三河支店豊橋支社の皆さんがボランティアとして参加しました。

マークを5点以上持参するかクイズに挑戦するかした子には、市の公式キャラクター「トヨッキー」のグッズや協賛会社からのプ

### 500人の子どもたちがブースを訪問

レゼントが贈られました。「ピアノが買えるなんて知らなかった」と子どもたち。「ベルマークの切り方って決まりはないんですね」と、これは大人の声。大使の松本さんは「未就学の子を連れた親が多いですね。イベントで運動のことを知り、今後につながったら嬉しい」。また倉光さんは「クイズで初めてベルマークを知る人もいますが、皆さんに理解を深めてもらうきっかけになれば」と話しました。

手にいっぱいマークを持ってきてくれた人、他のイベントのついでに寄った人、1年間マークを貯めてきてくれた人、「もっとベルマークを宣伝しなきゃいかん」とアドバイスをくれた人……。ブースを訪れた理由はそれぞれでしたが、改めてベルマーク運動の魅力に気づくきっかけになるイベントでした。

【プレゼントを提供してくれた協賛会社=〇はベルマーク番号】ラッキーベル(03)、クレハ(10)、ジブラルタ生命保険(15)、岩塚製菓(16)、ファミリーマート(23)、成田食品(36)、ブルボン(48)、ショウワノート(53)、クツワ(55)、グリーンスタンプ(56)、スミフルジャパン(70)、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合(76)、あいおいニッセイ同和損害保険(92)、マルニ(95)



## 東北 132 校、へき地等 166 校

### ベルマーク、今年度の援助対象校

ベルマーク財団が今年度支援する対象校の大枠が固まりました。へき地学校・特別支援学校・院内学級・日本人学校の合計166校に加え、東日本大震災被災校132校、あわせて298校です。

震災被災校については、岩手・宮城・福島の3県の小中学校の校長会にお願いしてリストを出してもらい、総額1020万円をかけて備品やバス代の支援を実施しているところ。へき地校は100校に30万円相当の備品を援助し、

特別支援学校は58校に希望の備品または拡大読書器かプロジェクター、院内学級4学級にはタブレットを援助しました。また日本人学校・補習校4校に希望の備品を贈りました。

7月の西日本豪雨被災校については現在被害を調査中で、8月の北海道地震の被災校も含め、追加で援助を実施する予定です。

(本号6面に支援先の学校名を掲載しています)

## 食育・子どもの居場所作り支援

### キューピーみらいたまご財団が助成対象を募集

協賛会社のキューピー(ベルマーク番号07)が設立した「一般社団法人 キューピーみらいたまご財団」が、2019年度の「食育活動」と、子ども食堂などの「食を通じた居場所作り支援」に対して、総額2,500万円の助成支援を行います。現在、助成対象の団体を募集中。締め切りは11月30日(金)です。

食育の「A」と、居場所作りの「B」の二つのプログラムに分かれ、いずれも助成金の使用は2019年4月1日から

2020年3月31日まで。プログラムBには今回から、2018年以降に活動を開始した団体を対象とした「スタートアップ助成金」も新設されています。

キューピーみらいたまご財団は、「食」に関わる社会課題の解決に貢献するため2017年4月に設立、助成はこれが3回目になります。選考結果の発表は2019年2月下旬の予定。応募方法や選考スケジュールなどの詳細は、同財団のホームページをご覧ください。